

平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 30 (当初計画: No. 30)

東北森林管理局

取組名	国際森林年に因んだ「森林を歩く」の実践活動及び森林環境教育の実施(継続)
流域名	北上川中流流域
重点事項番号	⑤-51・⑥-61
実施箇所及び実施日	岩手県和賀郡西和賀町沢内貝沢 平成23年10月23日
取組の背景及び必要性	生物多様性保全に関しては、地域住民の関心は都市住民ほど高くないものと思われる。そのため地域に所在する森林が生物多様性保全等にどのような役割を担っているのか普及啓蒙する必要がある。
取組の内容	<p>大木原牧草地はかつてブナやカツラの巨木に覆われた国有林であったが、牧草地としての必要性がなくなり国へ返還することとなった。</p> <p>そこで、牧草地をかつての豊かな森に蘇らせるため、多くの人に参加を呼びかけ植樹を行った。</p> <p>当日は、午前中に参加者(約100名)により、牧草地の近くから採取しポットで育てたミズナラ、トチノキ、オニグルミ等を植樹した。</p> <p>午後からは、種子のポット苗作り班と木の実を採取する班に分かれ、来年度以降の苗木作りをした。</p> <p>その後、「カタクリの会」の方を講師に近くの山を散策し、森林環境教育を行った。</p>
国有林担当部局・役割	岩手南部森林管理署: 植樹指導
連携協働相手先・役割	カタクリの会: 苗木の調達、地拵え
取組の結果、反響、今後の課題等	参加者から森林作りに参加することで、森林の役割等を学んでいただいた。
PRの実施状況及びその期待する効果	PR: プレスリリース 効果: 多くの人々が森林への関心を示す等の期待がされる。

【 参 考 資 料 】

取 組 名	森林環境教育の実施
-------	-----------

○開会セレモニー



○参加者による植樹風景

